

教科教育学コンソーシアム

第3回シンポジウム

教科教育学に 共通言語はあるか

—各教科・各学協会が使われている
用語・概念の意味比較—

2023. 3 / 11 (Sat.)

9:30 – 12:00

- ▶ オンライン会議 Zoom を使用
- ▶ 言語：日本語

第1回シンポでは、教科教育学の存立基盤と今後の展望について討論した。第2回シンポでは、教育課程の基準(学習指導要領)の分析と評価の方法論について議論した。

第3回では、これまでの議論から浮かび上がった言語(概念と方法論)の問題に着目する。各教科・領域には、独自の言語体系を生成させるとともに、それらを架橋し対話を可能にしている学術的な規範・文化が共有されていると解される。本シンポではこの点を部分的にも可視化を試みたい。そして教科教育学の言語体系に関する辞書の共同開発に向けたキックオフの場としたい。

「教科教育学コンソーシアム」とは、主に教育関連学会連絡協議会に加盟する教科教育学関連の学協会が設立された組織です。2022年時点で14の学協会が構成されています

1. 開会のことば (9:30-9:40)

深澤 清治
(教科教育学コンソーシアム代表理事)

2. 討論 (9:40-11:55)

- (1) 趣旨説明と研究構想(9:40-10:00)
草原 和博 (研究推進委員会委員長)
中村 大輝 (広島大学・日本教科教育学会)
- (2) 中間報告 (10:00-11:00)
後藤 忍 (福島大学・日本環境教育学会)
渡部 竜也 (東京学芸大学・日本社会科教育学会)
-----休憩-----
- (3) 指定討論 (11:10-11:25)
子安 潤 (中部大学・日本教育方法学会代表理事)
- (4) 総合討論・質疑 (11:25-11:55)
岡出 美則 (研究推進委員会副委員長)

3. 閉会のことば (11:55-12:00)

深澤 清治
(教科教育学コンソーシアム代表理事)

※本シンポジウムは、科学研究費・基盤研究(B)「教科教育学のターミノロジーとメソドロジーの体系化研究-学術共同体の構築のために-」の補助を得て開催します。

主催：教科教育学コンソーシアム

申込：以下より、事前登録をお願いします。

教科教育学コンソーシアムのホームページ (<https://jcospa.org/>)

またはQRコードから

メールでのお問い合わせ ▶ jcrda1@hiroshima-u.ac.jp

